



学校だより

福島県立郡山支援学校
令和5年7月20日
令和5年度 第1号

Well-beingの実現に向けて

児童生徒が、健康で安全に生活できる環境を整えながら、一人一人のよさや可能性を広げ、社会とつながる「生活に生きる力」を育む教育を行っていくため、教職員がそれぞれの専門性を発揮し、学習や生徒指導及び校務の運営を行ってまいります。また、「子どもは一人一人が未来の創り手」、「全ての子どもは学びたがっているし学ぶ力を持っている」、「子どもは一人一人違っていい」という子ども観を教職員が共有し、新しい時代を生きる児童生徒の自立と社会参加に向けた教育の充実に教職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、保護者や地域の皆様とともに、学校は歩んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



校長 齋藤 成子

<学校教育目標>

『一人一人のよさや可能性を広げ、「生活に生きる力」を育み、自立し社会参加できる児童生徒の育成を目指す。』

<令和5年度教育課程重点目標>

『各教科等の資質・能力を育むために、言語環境を整えるとともに、各教科等の特質に応じた言語環境を充実させた授業づくりを実践する。』

目指す子供の姿

主体的に生きる児童生徒

心豊かに生きる児童生徒

健やかに生きる児童生徒

学校経営・運営ビジョンに基づく、本校の取り組み状況をお知らせします。

主体的に生きる児童生徒

・「ことば」を育む授業づくり

本校では、教員の授業力向上を目指し、授業研究に取り組んでいます。研究テーマは『「3つの資質・能力の育成」を目指す学習の基盤となる言語能力の育成』で、今年度は3年目の取組となり、「ことば」を育む授業づくりを行っています。本校では、児童生徒の「ことば」を、自分の思いを表現したり、コミュニケーションを取ったりする全ての手段と捉え、話し言葉や文字だけではなく、声、表情、身振り、視線、身体の動き、絵、写真等全ての表出を「ことば」と捉えています。

研究3年目となる今年度は、6～9名程度のチームで各教科の目標をもとに担当する児童生徒に育みたい「ことば」の力について共通理解を図り、支援や手立てを工夫しながら授業づくりに取り組んでいます。児童生徒がそれぞれの「ことば」を使い、伝え、考え、伝え合えるような授業を行い、豊かな学校生活を送ることができるよう取り組んでいきます。



心豊かに生きる児童生徒

・児童生徒の「よさ」が生きる学級づくり

小学部

帰りの会の「今日のMVP」でその日にキラリと輝いていた友達を発表し合っています。選ばれた児童は、誰もが笑顔になり、「また選ばれたい。」と日々の生活の励みにつながっています。また、友達の良いところを見つけようという意識につながり、関係が深まるのを感じます。



中学部

中学部では、自分自身や友達の長所・個性を知る機会の一つとして、各教科等での話し合い活動を充実させています。各学級においても、日々の授業の中で知ったお互いの「よさ」を発揮できるよう、学級づくりを行っています。

【体育：ハンドサッカー】



個人別ルールを話し合っている場面

高等部

登校や学習に対する意欲はあっても登校できない生徒と繋がり、メディアなどを利用した授業を実施しています。リモート配信授業を通して、離れていても学級や学部の繋がりを保ち、仲間意識を強めながら、お互いのよさやがんばりを認め、お互いを思いやりながら、学びを進めています。



・児童生徒の「よさ」を明確にした個別の教育支援計画の作成と活用

○作成にあたって…

本校では、小1、小4、中1、高1になった年度に、3年間使用の個別の教育支援計画を作成しています。(転入学の場合はこれに限らない)作成については、以下のような流れになります。

①「パーソナルフェイスノート(生活・健康に関する資料)」「本人・保護者の願い」等を基に担任が作成します。

②懇談時(年2回)に、教育的支援の方向性(教育的ニーズ)・合理的配慮の検討と記載内容の確認を行います。(合意を得られたら署名していただきます。)

③原本を支援ファイルに綴じて保管していただきます。(原本のコピーは1部学校で保管します。)

○活用にあたって…

児童生徒が関わる関係機関(医療、福祉、保健、労働等)との話し合いの際、教育支援計画を活用することで情報が共有され、児童生徒の「よさ」や「可能性」がより広げられると考えております。

健やかに生きる児童生徒

・「食事支援ガイド」を活用した安全な食指導

本校の給食は、「普通食」「特別食(軟菜・煮込み・ペースト)」の4形態で提供しています。特に、特別食は、それぞれの段階の口の動きや飲み込みの力に応じて、安全においしく食べることができるよう、軟らかさやまとりに気を付けながら丁寧に作っています。詳しくは、ホームページでも紹介しています。健康教育部の「食事支援ガイド」をご覧ください。



特別食の裏ごしの様子

・協働を意識した安心・安全な医療的ケアの実施

教員と看護師の朝の引継ぎの際に児童生徒のその日の体調を確認し、ケアのタイミングについて話し合い、それに基づいて一日のケアを実施しています。学習を進めていく際にも教員と看護師と一緒に児童生徒の体調の変化、ケアのタイミングを見極め、安心・安全にケアを実施し、継続して学習を進めることができるようにしています。



お知らせ

本校の取り組みを本校ホームページ及び福島県教育委員会公式noteサイト「福島県学びの情報プラットフォーム」に随時アップしています。ぜひご覧ください!!